



## 会工生の頑張り

会津工業高校ニュースは、文武両道で活躍する会工生の頑張りにクローズアップしました。

### ーものづくりー

## ○高校生ものづくりコンテスト 2019 県大会

### 【化学分析部門 第4位】

#### セラミック化学科2年 Uさん



1年生の時に、先生からお誘いいただき、不安もありましたが何事も挑戦してみようと思いました。最初、先生が実際に手順や操作をしているのを見て、「自分にできるかな」「大丈夫かな」と弱気になっていましたが、実際にやってみると先生が優しく教えてくれたおかげで、少しずつ覚えていくことができました。1年生の時、初めて大会に出場し、緊張とともに不安になり、今まで練習してきたことができるのかなと思ったとき先生から「梅宮なら大丈夫だ」言われたことを思い出しました。結果は6位でしたが、来年は1位になってやるという気持ちで一杯でした。2年生になり、本番当日、去年の懐かしさと緊張が甦りました。スタートの合図がなり、焦らず練習通りの操作を行いましたが結果は4位。得点を見ると97点と高得点を取ることができましたが、0.3点差で入賞することができませんでした。悔しい結果に終わってしまいましたが、操作技術など成長したなど自分でも実感することができました。そして、ものづくりコンテストで学んだことを活かし、将来に向けて頑張りたいと思います。

### 【旋盤作業部門 第4位】

#### 機械科2年2組 Wさん



出場したきっかけは、担任の先生の「出てみないか？」の一言でした。練習は6月の中旬から開始したのですが、最初は

大きな旋盤を操作する事と作業工程を覚えなければならぬという事で不安しかありませんでした。慣れてくると作業工程も頭に入り安心していたのですが、すぐに自分の考えの甘さを痛感することになりました。

た。同じ加工でも場所によって精度が違い、覚えることの多さに頭が混乱してしまいうまくいかずに大変でした。夏休みに入り、朝9時から11時頃まで毎日先生の指導を受けながら寸法精度の向上を目標に練習を続けました。大会当日は風邪が悪化してしまい、頭が回らない状態で作業に取り組みました。そんな時に限って測定器具がトラブルを起こしてしまい、普段であれば予備の測定器具または別の測定器具で測定するのですが、体調不良と本番の緊張からあせってしまい対策が出来ませんでした。結果は第4位でとても悔しい思いをしましたが、この経験からたくさんの事を学ぶ事が出来ました。この貴重な経験を今後の生活に生かしていきたいと思います。

### 【電気工事部門 第2位】

#### 電気科1年 Sさん



練習は、器具の取り付け方をはじめ、ケーブルや金属管・P.F管を作業板に取り付けるといった基本的なことを繰り返し練習しました。

夏休みから続けてきた練習の中で一番難しかったものは、ケーブルをステップで取り付ける作業でした。ケーブルの少しの浮きや曲がり減点になってしまうため、正確に綺麗に取り付けることが要求されるからです。本番当日、比較的楽な回路でした。競技中は、他の競技者の作業の音や動作ですごく緊張してしまい手が震えました。しかし、いつもより集中力が増して順調に作業が進み制限時間内に終わることができました。結果は練習の時よりもミスが少なく第2位に入賞することができました。この経験を活かして、これから色々な資格をたくさん取っていきたいです。

### 【電子回路組立部門 第3位】

#### 情報技術科2年 Yさん

競技は大きく3つの工程があり、それらを2時間半で行うものです。最初の練習では2つの工程だけで3時間もかかってしまい、大会で良い結果を残すことより、時間内に終わらせ、なおかつ正確に作る事が大きな課題でした。約2か月練習し、2つの工程を25分に短縮できました。本番では緊張で手が震えながらの作業でしたが、一番早く作品を完成させることができ、結果は第3位入賞でした。短い間でしたが毎日楽しく、また沢山の事を学ぶことができ良い経験になりました。これからの学校生活や来年度の課題研究、

そして将来に活かしていきたいと思います。

## ○第28回コンピュータアイデアコンテスト 【優秀賞】

### 情報技術科3年 Sさん



私達は「遠隔操作出来るUFOキャッチャー」をテーマに掲げ、『課題研究』で女子4人、男子3人の計7

人の班で研究を行いました。年間計画を立て、女子はx-y-z軸の駆動部とアームの機構設計、それらの制御回路と制御プログラムを、男子は木製の筐体の設計、製作を役割分担のもと全て1から製作しました。モータの制御回路やアームの製作など難航する作業が多く、可動部の調整など放課後や夏休みを利用して調べたり、他の科の先生にも協力して頂いたりしてなんとか完成する事ができました。コンテストでは機械的な部分のみの発表になってしまったのですが多くの人に見て、実際に遊んでもらう事で、達成感を感じるとともに改善点も多く見つけることができました。また、出展していた他校の作品を見学し同年代のレベルの高さに刺激を受けました。最後に、この課題研究から計画をしっかり立てること、また一人で作業せず仲間と協力して作業を進めることの大切さを学ぶことができました。

## ○パソコン甲子園2019

### 【審査員特別賞】

### 情報技術科3年 Oさん、Sさん



私たちが参加した理由は、自分たちのスキルチェックをしたいと考えていたからです。予選は、パソコンとプログラミングに興味

があったことや、挑戦が好きであったこと、AOJなどの競技プログラミング向けオンラインジャッジサイトで練習しアルゴリズム習得に励んだことがあり、突破できたと考えております。本選では、全国の自分たちとはそれぞれ文字通り「格が違う」人たちが大半でしたがその中で力を出しきることができました。結果は2年とも上位入賞はできませんでしたが、2019年度大会では、審査委員特別賞を頂くことができました。審査委員特別賞はいくつかある問題の中から1問を提示されその回答の中で一番審査員が良いと思った

回答を表彰する賞で、私たちの書いたコードは「完結的で理解がしやすい」といった理由で賞を頂きました。日ごろ、美しいコードを書くことを心掛けていることが評価につながったと感ずうれしく思いました。

### 一進路状況一

就職 163名 (県内: 90名、県外63名)

進学 68名 (大学31名、専修学校等37名)

### 一資格取得状況一 (主なもの)

- ・3級技能士 (普通旋盤) 6名
- ・3級技能士 (建築大工) 3名
- ・2級建築施工技術者 15名
- ・第1種電気工事士 11名
- ・第2種電気工事士 46名
- ・応用情報技術者 1名
- ・基本情報技術者 1名
- ・ITパスポート 5名
- ・工事担任者DD3種 12名
- ・リスニング英語検定1級5名
- ・リスニング英語検定2級9名
- ・陶芸技能検定上級 1名
- ・ろくろ技能検定 3名
- ・グラフィックデザイン検定2級7名
- ・危険物取扱者乙種4類 19名 など

### ※ジュニアマイスター顕彰

特別表彰: 2名、ゴールド: 3名

シルバー: 24名、ブロンズ: 12名

### 一部活動一 (主なもの)

#### 【陸上部】

- ・東北高校新人体育大会 (八種競技4位)

#### 【弓道部】

- ・東北高校選手権大会 (男子団体ベスト8)
- ・全国高等学校弓道大会 (男子個人、準決勝出場)

#### 【水泳部】

- ・県高校体育大会 (200m・400m自由形1位)
- ・国民体育大会 (400m自由形出場)

#### 【ボクシング部】

- ・全国高校選手権大会 (バンタム級ベスト16・ライト級出場)

#### 【スキー部】

- ・東北高校スキー大会 (クロスカントリー競技10km 11位)

#### 【機械研修部】

- ・ホンダ・エコ・マイレッジチャレンジ2019全国大会 (高校生クラス・33位)

#### 【IT研究部】

- ・パソコン甲子園2019 (プログラミング部門) (審査委員特別賞)